

新国立劇場 開場 20 周年記念 2017/2018 シーズン

# プライムたちの夜

Marjorie Prime

作◎ジョーダン・ハリソン

翻訳◎常田景子 演出◎宮田慶子

出演◎浅丘ルリ子 香寿たつき 佐川和正 相島一之

2017年11月7日(火)～11月26日(日)

新国立劇場 小劇場

美しい思い出、愛する人、永遠—  
人工知能は人を幸せにするのか？

作：ジョーダン・ハリソン 翻訳：常田景子 演出：宮田慶子



浅丘ルリ子



香寿たつき



佐川和正



相島一之

2017年11月7日(火) - 26日(日) 小劇場

2017年9月9日(土) 一般前売開始

夜 たちの プライム

Marjorie Prime by Jordan Harrison



【9月9日(土)10:00チケット前売り開始 ☞ 新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999】

写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ

◎新国立劇場 制作部演劇 広報担当 尾崎 悠

TEL: 03-5352-5738 / FAX: 03-5352-5709

E-mail: ozaki\_y1019@nntt.jac.go.jp

◎新国立劇場 制作部演劇 制作担当 三崎力 永田聖子

TEL: 03-5352-5736

## ◎作品について

美しい思い出、愛する人、永遠—

人工知能は人を幸せにするのか？

現代欧米戯曲を日本初演する企画の第5弾は、アメリカの新進作家ジョーダン・ハリソンの『プライムたちの夜』。

2014年、ロサンゼルスでの初演後直後から反響を巻き起こし、2015年にピュリッツァー賞の最終候補作品となり、オフ・ブロードウェイでの再演、さらには映画化され2017年サンダンス映画祭でプレミア公開され高い評価を得ています。この話題作の演出を手がけるのは、新国立劇場芸術監督の宮田慶子、出演は、新国立劇場初登場となる浅丘ルリ子、そして香寿たつき、相島一之、佐川和正ら、演出家の信頼篤い四人の顔合わせが実現、まさに開場20周年にふさわしい豪華な布陣でお贈りいたします。

## ◎あらすじ

とある家の居間、85歳のマージョリーが30代のハンサムな男性と会話している。だが昔の二人の思い出に話が及ぶと、その内容に少しずつ齟齬が生まれる。戸惑うマージョリー。実はその話し相手は、亡き夫の若き日の姿に似せたアンドロイドだった。

薄れゆくマージョリーの記憶を何とかとどめようとする娘夫婦。愛する人を失いたくない—家族の愛をテクノロジーはどこまで補えるのだろうか…。

## ◎作者プロフィール

### ジョーダン・ハリソン (Jordan HARRISON)

アメリカの劇作家。ニューヨーク在住。

2003年頃より劇作を始め、これまでにルイスヴィル、サン・フランシスコ、ミネアポリスなどで上演されている。2007年にはオフ・ブロードウェイに進出。本作『マージョリー・プライム』は2014年、ロサンゼルスで初演され、翌年、ピュリッツァー賞の最終候補に残った。またマイケル・アルメレイダ脚本・監督で映画化もされている。

## ◎翻訳 常田景子からのメッセージ

この戯曲は、1977 年生まれの人物が 85 才の人間の記憶を持っている、という設定なので、21 世紀半ば過ぎが舞台になっています。近未来を描いたSFと言いたいところですが、作者は、この戯曲を「SFとは思わない」と書いています。あと 50 年も経てば、この芝居に出てくるような製品が実用化されるかもしれない。そして、そんな製品があれば、人々は買うかもしれないと思わせるリアリティがあるのは、そのくらいの歳月では、そんなに変わらないだろうと思われる人間の深い感情や欲求が、描かれているからでしょう。愛する人を亡くしたあと、悲しみとともに後悔が残ることが、ままありますが、やり直すことはできるのでしょうか。さりげない会話の中に、ふと差しはさまれる違和感。それが観客の興味を引きつけていきます。また、この芝居は、記憶についての物語でもあります。人は、生きていく中で記憶を塗り替えます。また、忘れてしまうこともあります。誰かに語った記憶が、語られた人の中に、少し形を変えて残ることもあります。自分の中に蓄積されている多くの記憶について思いをはせ、生きているということと、自分を取り巻く人々のかけがえのなさに改めて気づかされる戯曲です。

## ◎演出 宮田慶子からのメッセージ

幼いころ・・・つまりは半世紀以上も昔、テレビの白黒画面のなかの「鉄腕アトム」の活躍に釘付けだった。アトムは人間が作り出した「ロボット」でありながらも、その完璧な人工知能は、時には人間よりも人間らしい「優しくまっすぐな心」を持っていた。今や私たちの生活の中には、さまざまな形の「ロボット」が入り込み、「人型ロボット」の進化もめざましく、いまや外見では「人間」と違いがわからないくらいである。それを「うす気味悪い・・・」と拒絶する生理を、単なる習慣の問題としてとらえるのか、自己認識の裏返しと取るのかの議論も、今や日常化している。

作者の産み出した「ロボット＝プライム」は、私たち人間のはかない欲望をインプットされ、ぎくしゃくと、予定調和の中を進んで行く。現代よりもさらに少しだけ未来の家族を描いた『プライムたちの夜』は、プライムを巡り、人間の深い孤独、夫婦・親子の葛藤や絆を描きだし、そして美しい記憶の郷愁に彩られた「人間賛歌」である。プライムを作り出すことを含めて、人間の営みを愛おしく思える舞台にしたい。

## ◎出演者プロフィール

### マージョリー ◇ 浅丘ルリ子(あさおか・るりこ)



1955年、映画『緑はるかに』でデビュー。以後、日活看板女優として活躍。その後も『男はつらいよ』『四十七人の刺客』『鹿鳴館』など数多くの映画や、テレビに出演。本年も『おんな城主直虎』(NHK)、『やすらぎの郷』(ANB)への出演にて話題を呼ぶ。菊田一夫演劇賞はじめ多くの受賞歴もあり、2002年には紫綬褒章、2011年には旭日小授章を受章。舞台においては、1979年の蜷川幸雄演出『ノートルダム・ド・パリ』を皮切りに、『夜叉ヶ池』『にぎり江』『草迷宮』『おかしな二人』『三谷版桜の園』『乾いた太陽』など数多くの作品に出演。本作の演出家宮田慶子とは2002年、04年、06年と上演された『伝説の女優』以来のタッグとなる。新国立劇場への出演は初となる。

### テス ◇ 香寿たつき(こうじゅ・たつき)



1986年宝塚歌劇団入団、歌・ダンス・芝居と三拍子揃った逸材として2001年星組トップスターとなり、実力派男役として活躍。03年3月、『ガラスの風景／バビロン』にて退団。宝塚在団中に初めて外部出演した『天翔ける風に』の再演で女優デビュー。以後、『モーツァルト！』『コリオレイナス』『ラ・カージュ・オ・フォーール』『シェルブールの雨傘』『さくら色 オカンの嫁入り』『エリザベート』『花嫁』『ロミオ&ジュリエット』など数多くの舞台、ミュージカルに出演。新国立劇場では『朱雀家の滅亡』に出演。2010年には第35回菊田一夫演劇賞を受賞。

### ウォルター ◇ 佐川和正(さがわ・かずまさ)



文学座附属演劇研究所を経て、2005年、文学座座員となる。02年、『ベンゲット道路』で初舞台。以降、劇団内外問わず舞台を中心に映画、アテレコ、ドラマなどでも活躍。近年の主な舞台作品として『二人だけのお葬式』『春疾風』『弁明』『食いしん坊万歳！～正岡子規青春協奏曲～』『エレファント・ソング』『ベルリンの東』など。新国立劇場では『るつぼ』『三文オペラ』『ヘンリー四世』に出演。

### ジョン ◇ 相島一之(あいじま・かずゆき)



1987年より東京サンシャインボーイズに所属、94年『罨』までの全作品に出演。以降も三谷幸喜作品に欠かせない一人として数多くの映画や舞台に出演。合わせて三谷作品以外でも『ショムニ』(CX)、『仁』(TBS)等話題作に出演、近年では『花子とアン』『花燃ゆ』(共にNHK)、『ヒポクラテスの誓い』(WOWOW)、『女たちの特捜最前線』(ANB)などが記憶に新しい。最近の舞台出演作品としては『コンフィダント・絆』『returns』『恋と音楽II』『紙屋町さくらホテル』『フランケンシュタイン』など。新国立劇場では『わが町』『OPUS／作品』に出演。

## ◎公演概要

【タイトル】 プライムたちの夜 (原題: Marjorie Prime)

### 【スタッフ】

作 ジョーダン・ハリソン

翻訳 常田景子

演出 宮田慶子

美術 横田あつみ / 照明 中川隆一 / 音響 上田好生 / 衣裳 半田悦子

ヘアメイク 宮内宏明 / 演出助手 金澤菜乃英 / 舞台監督 澁谷壽久

芸術監督 宮田慶子

主催 文化庁芸術祭執行委員会／新国立劇場

### 【キャスト】

浅丘ルリ子 香寿たつき 佐川和正 相島一之

【会場】 新国立劇場 小劇場 (京王新線 新宿駅より1駅、「初台駅」中央口直結)

【公演日程】 2017年11月7日(火)～26日(日)※月曜休演

2017年 11月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木祝	24 金	25 土	26 日
13:00					●	●						●	●				●		貸切	●
14:00			●	●			休演	★	●	●	●			休演	●	●				
17:30					●							●					●		●	
19:00	●	●	●							●								●		

★=終演後、シアタートーク

全国公演: 11月29日(水)13時・兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール

【前売開始】 2017年9月9日(土)10:00～

【料金】 料金: A席6,480円、B席3,240円、Z席1,620円(税込)

### 【チケット申し込み・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nnt/>

\* **Z席1,620円** 公演当日10時よりボックスオフィス窓口で販売。1人1枚。電話予約不可。\* **当日学生割引** 公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について50%割引にて販売。要学生証。電話予約不可。\* 新国立劇場では、高齢者割引(65歳以上5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(中学生以下20%)など各種の割引サービスをご用意しています。